

第14号

発行所
 東北地区屋外広告美術業組合連合会
 情報文化委員会
 事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
 TEL 022-257-0437



東北地区屋外広告美術業組合連合会
 会長 高橋 徳一

「リーダーシップ」生き残るために

構成員の皆様にはお健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり、去りし2002年の皆様の温いご協力に感謝申し上げますと共に、新らしい2003年も変わらぬご支援を心からお願ひする次第であります。

昨年は、私達業界の仕事量が全体的に減速されたように思います。

また、金融問題が再燃し、銀行の融資姿勢も一段と渋くなってきました。

こうした景気循環も去ることながら構造的な限界に直面している構成員の方も多いのではないかと思います。

消費動向の変化についていけなかったり、価格競争やサービス競争に敗れ苦しんでいる構成員の方もいると思います。

一方デフレ経済のもとでは、価格の低下が下げ止まらず、売上が伸びず、負債が増加し、経営内容を悪化させているのではないかと心配しております。

私たち零細企業では、経営者の報酬を下げたり、社長個人の資産を運転資金に回すようなかたちで耐えている方たちも多いのではないかと思います。

しかし、そうした血のじむような努力も、やがて限界がくる日が、そう遠くないのではないかと思います。

いつの日か、環境が良くなるのを待っている経営でもう乗り切れないものと覚悟を決めるべきであります。

経営者ひとりが悩んでいる時ではないのです。腹をわって従業員と話し合うことが必要です。

会社を作ったことが間違いだったというのなら従業員が要らないということになります。したがって、あなた自身が職を失っても当然

ということになります。それでもあなたはいいんですかと従業員に問いかけること。株主になってくれた人々がこの会社を造ったから、何人かの雇用の場ができました。だけれど、いま会社は赤字で苦しんでいるのです。若しここで赤字をなくさなければ、いままでの投資と雇用が正しかったとは言えないのです。

これから先は、自分たちの責任であること。従業員に自覚させることです。そのことが赤字脱却の第一歩であると肝に銘ずべきであります。

そして、ただちに行動計画を立ててください。「今までやってきたことは正しいことでした、しかし環境が大きく変わったことは、たしかです。」

正しいことでも、これからのことのために、やめる勇気も必要です。

いま、誰にでもできることは、あらゆる無駄を排除することです。

制作のムダ、運搬のムダ、取付のムダ等による時間のムダを取除くことが先ず大事なことです。

毎日、おなじような手順で作業をしていると、それが最善だと錯覚している場合があります。ムダを取除き、新しい作業行程を築くためには、すべての過程において「なぜ」、「なぜ」、「なぜ」と繰り返し返すことです。そのことにより新たな方向性を見出すことができるかも知れないのです。

市場にニーズが溢れていた時代は、ただ供給するだけで事がたりました。

従業員もまた、勤勉で、忠実でトップダウンに依ってさえいけば良かったのです。

しかし、あらゆるニーズがごとごとく開拓され尽した今、生きのこれるのは「需要を創

造する力」をもった企業のみであります。顧客ニーズというものは潜在的で目に見えないものです。

その行動、その表情から顧客自身の思いもよらなかつたようなニーズを汲み取り、「これが欲しかったのではありませんか」と提案することができれば最高です。

そして「リーダーシップ」です。リーダーシップは、経営者だけでなく、従業員一人ひとりに求められている時代になったのではないかと私は感じております。

第25回東北六県 公共キャンペーン作品展 審査を終えて

宮城県美術館
 教育普及部技師
 美術家 大嶋 貴明

「屋外広告美術」なんとノスタルジックな響きの言葉だろうか。制作者とクライアント以外にはほとんどつかわれぬ言葉が3つ「屋外・広告・美術」と連なっている。提供されたここ数年の資料や審査講評を読むと、これがまた同じパターンにはまっていく。曰く、「手で描くこと」、「デジタル技術」。当然現場では、ノスタルジーだけではありえない。手仕事は普段に不断にしていなければ、技術の維持だつてあやしい。見る(審査)する方は、それが看板であることを忘れ、世の中に様々にあるビジュアルデザインとしてみる。

今回、審査してみても、私もまたそのパターンにはまっていき、違う視点と発想にたてなかつたことをまずおわびしなければならぬ。以下、個々の作品への感想(講評)を含め、プロのみならず失礼なことを書いてしま

うかもしれないが、いくつか審査させていただいたとき頭に浮かんでいたことを述べさせていただきます。

まず、作品展の枠組みである。もっと現場に近い枠組みだったらどうだろうか。あるいは、新しい発想に少しでも多くの方々が立つための作品展なのか、技術の巧拙あるいは普及のためなのか、どちらかに徹底するとしてた

らどうだろうか。現在の作品形式は一点もののポスターになってしまふ。定型の矩形パネルのしぼりがなくなつたほうが、メッセージとメディアとテクニクの関係を変えていけるのではないだろうか。デジタル技術のメリットの一つがその汎用性にあるとすれば、「この看板にはこれだ」的なものももっと色々でてこないとつまらないように思う。

次に、テーマの公共性である。テーマに対して造形的なメッセージ性が逆なのは論外として、「論語読みの論語知らず」にテーマとメディアの関係がなっていないかどうか。また、どうしても公共キャンペーンは図柄も文句も紋切り型になりがちだ。このあたりは、むしろ、他の職種の方々と共同制作を考える必要があるのではないかと。

そして、作品の内部の問題になるが、あえて手描きの良さを上げていけば、油性ペイントやその他の素材の物質的強さ、個性的なタイポグラフィ(コンピュータに入っている書体は使わない)、感性的な構成軸(水平垂直軸とか、等間隔とか、センター合わせとかは使わない)などをあげられる。これらは、一点もの時、一度見直すべきものだ。

最後に、デザインすべきは、新しい人間関係づくりでもある。クライアントと制作者など供給側の関係だけではなく、作品の持つイメージやメッセージ性に媒介されたコミュニケーション形成の一パーツとして作品は働く(はずである)。タイポグラフィ、イラスト、色彩

など作品の要素レベルも含め、作品以外の他のものとの組み合わせを暗示しないしは明示的な形式をとれるか。(例えば、キャラクターが成功しやすいのはそれがあからだ)供給側の関係がどうしてもこれまでの発想と手法にしばられるが、夢があるのは(そもそも広告はそのようなものだった?)コミュニケーション側ではないだろうか。たぶん、展示や審査も対話的なものが望まれる。

第25回 東北6県公共キャンペーン作品展



国土交通大臣賞
 「第18回国民文化祭・やまがた2003」山形県 南大井看板
 「文化のかたまり」というキャッチコピーに少しだけ魅力を感じました。造形的には部分的に使われた高彩度色に対して大面積の明度差のある低彩度色とがおもしろく思います。



日広連賞
 「リサイクル」宮城県 南中倉サイン工芸
 正々堂々、太い文字、太い線、奥行き感、質感の差。そして、まとめているのは、γの字の下がオレシジラインに重なっていること、ですが、レリーフで重くなりすぎないところを評価したいと思います。



東北地区連会長賞
 「ねりんピック」福島県 二海堂看板店
 これは、あまり競技スポーツに見えない、かつ、無彩色と高彩度色の対比効果、イラストのドローイング性などに魅力を感じました。図と文字部分の関係はすっきりしています。



宮城県知事賞
 「Asian Best とどげ世界にアジアの響き」青森県 株式会社アイサイン
 タイトルとイラストの力が一致しているようにみえます。イラストのくどさも、アクリル板の使用ですっきりみえます。文字は黒なのかも知れませんが、もう一つ芸のある黒はありえないでしょう。



仙台市長賞
 「Stop The Mobile Phone」青森県 株式会社アート芸術工芸
 細かいことですが、日本語のひらがなと2つの英文字の書体がおもしろいように感じます。図はすっきりみせているのですが、イラストの配置はもっとメッセージ性の強い場所があるように思います。



優秀賞
 「環境保全 地球よ、よみがえれ!」青森県 株式会社中崎工芸社
 作品の各要素がすっきり組み合い、かつ、1つ1つの要素にも嫌味がありません。地の色と図の色の関係で図の色に光を感じさせ、その事がメッセージ性を伝えるように思います。



優秀賞
 「ねりんピック」福島県 株式会社芸プロ
 全体が良きにつけ悪しきにつけ見やすく感じました。イラストの中の芸と文字の関係、キャラクターとイラストの関係など、冒険してしまうと今の見やすさはこわれるのかもしれませんが、新しい屋外広告へはそれが必要な場合もあるのではないのでしょうか。



奨励賞
 「ねりんピック」福島県 株式会社阿企サイン社
 前世紀の高度経済成長期の某オリンピックポスターの走者に比べれば、アルミ銀のシルエットはなんと稀薄なことでしょう。それが今世紀かつ公共でやるこういうものの宿命でしょうか。作品外のことを感じさせました。



奨励賞
 「安全運転 若葉のころから紅葉まで」岩手県 株式会社栄建
 この標語のものなだけでは、一番すっきり見え、かつ若葉色と紅葉色を使わなかったことを評価しました。イラストの大きさや色づかいにあるバランス感があります。



奨励賞
 「第18回国民文化祭・やまがた2003」山形県 ナカノ工房
 地の色、中の図の形状、色とも、言葉の「異文化・異形態の…」に反応していて、一般性はないかもしれませんが、力を感じます。ただ、内容とかその意味からいえば、デジタル技術だけでできていることには限界を感じさせます。



奨励賞
 「福祉向上」秋田県 株式会社サトウ工芸
 福助さんのなさない表情と全体のなともいえない補色対比がメッセージを伝達します。イラストと文字の組み合わせ方や配置には違う発想は無いでしょうか。



奨励賞
 「福祉」宮城県 株式会社アベ美装
 すべて手描きなのでしょうか。筆で書かれた文字列がある感じを醸し出します。用具のイラストも細密にいかない良さがあります。これらが生きる構成が見つかることなのでしょう。

日広連の 屋外広告物 賠償責任共済制度

事業所の企業経営を大きくバックアップします!

★第1共済及び新デラックスは事業所を経営される皆様のため
 ★第2共済・第3共済は広告主の皆様のための共済制度です。

第1共済

- ◆工事中・工事後に施工者(事業所)に発生する賠償責任に備えます。
- ◆団体のスケールメリットを活かして掛金が大変割安になっており、日広連加盟事業所約5,500社のうち約3,500社が加入しています。
- ◆無負担有補償制度を実施しており、加入時に一定の掛金を払い込むと以後は無負担で補償を受けることができます。
- ◆過去の年間平均事故件数は約115件、共済給付金は年間平均約6,000万円にのぼっています。事故防止と万への対策は不可欠です。

加入の手続き方法
 「屋外広告物賠償共済加入申込書」に所定事項を記入の上、掛金を添え所属会員団体にお申し込み下さい。
 ●掛金の納付方法の詳細は所属会員団体にお問い合わせ下さい。
 (1)既加入の方は再度申込の必要はありません。
 (2)この第1共済に加入していないと新デラックス、第2共済、第3共済に加入することはできません。

新デラックス

- ◆第1共済では免責となる、施工者が所有・使用・管理する他人の財物を損壊した場合の賠償責任、さらに塗装・溶接に起因する賠償責任についても補償します。
 - ◆対人5億円、対物5,000万円まで補償しますので、まさかの重大事故でも備えは万全です。
 - ◆免責は第1共済と同様10万円です。
- 従来の第1共済DXは廃止となりました。

■新デラックス・月額掛金

No	従業員数	月額掛金
1	3名以下	5,000円
2	5名以下	7,000円
3	10名以下	13,000円
4	20名以下	24,000円
5	35名以下	30,000円
6	50名以下	40,000円
7	51名以上	45,000円

第2共済

- ◆広告主の広告物管理ミスによる賠償事故を補償します。この共済制度に加入しておけば、施工者の責任による事故が所有者(広告主)の責任による事故が不明確な場合でも、トラブルが生じることができません。
- ◆広告物ごとの任意加入制度です。また、同一規格の広告物ならまとめて加入することもできます。

第3共済

- ◆広告物自体を補償する制度です。広告主にとって大事な広告物が損壊した場合、その修繕費用を補償します(但し、1万円は自己負担となります)。
- ◆第2共済と同様、広告物ごとの任意加入となります。

●お問い合わせ 資料請求先
 社団法人 全日本屋外広告業団体連合会
 〒130-0014 東京都墨田区電沢1-17-14
 TEL. 03-3626-2231(代)

●引受保険会社
 東京海上火災保険株式会社 広域法人部
 〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
 TEL. 03-3285-0301(ダイレクトイン)
 代理店: 有限会社 アールエージェンシー

青 森 県

サインと景観 — 求められる意識の変化 —

サインクリエイター

青森県屋外広告業(協)理事 石 沢 曉 夫



「周辺景観との調和に配慮した広告物となるようお願いしたい」という要望書が都市景観形成推進協議会から日広連に毎年出されている。

これに対し日広連サイドではとりたてて協議していないようだ。恐らく議論してもラチがいかない、それぞれ業態が違う、考え方の相違がある。問題を回避する理由はたくさんあるだろう。

今日の日本の風景の構築に大きく影響を与えてきた看板は人々に情報を提供し企業に利益をもたらした。CMとしてのコミュニケーション効果、娯楽性もまた一般大衆に受け入れられ、活性化の大きな要因になっている。

しかし、その一方で同時に自然景観、都市景観も汚染してきたのもまぎれもない事実である。

◆汚染され続ける景観◆

現在、青森県でも景観条例や屋外広告物条例が運用され、規制も厳しくなってきた。これに対し、組合員はそれぞれの意志で野立て看板など紳士協定に基づき自制しているのが現状である。ところが、ここ2、3年の間に野立て看板が激増したのである。県外業者のN社が営業を開始し、ところかまわず設置しているのがある。まさに「乱立」である。看板の設置も簡易で考えられない構造であるし、看板が街路樹で見えにくくなるという状況で枝を切り落とし、やりたい放題である。

それまでも野立て看板はいっぱいあった。しかしそれは許容範囲内であった。物事には「節度」というものがある。決して計れるものではないが、これくらいまでは我慢できるだろう、許せるだろうという心理が感覚的にあるのだが、N社には全くそれが無い。それはただ単に経済効果があって、利益が上がるという売り手買い手の満足しか考えていないのである。「景観に配慮」という意識は残念ながら全くないのである。

これが日本全国だからとても恐いし、心が痛むのである。

◆地域の個性の喪失◆

戦後、近代的な建物が建ち並び超高層ビルが林立した。グレイッシュトーンの斬新な建築物が近未来の街並みを創っている。一見かつこよくみえるのだが、それがどこだろうと同じ様に見える。横浜も千葉も標識が違うだけのように。そして全国どこに行っても自動車メーカー、電機メーカー、洋服店の看板、ファーストフード店、更に街角をおおいつくすソフトバンクの看板が否応でも目に飛び込んでくる。街の顔である駅舎もビルと併設し、アーケード街も同様。秋田に行っても福島に行っても何ら変わらない同じ風景。そこには安らぎや楽しさがなく、地域のこだわりがない。だいたいに写真撮りたくなる風景はほとんどないのである。強いて言うなら山ぐらいいい。いったい誰がこんなつまらない風景をつくってしまったのだらうか。さらには、今後、市町村合併が進めば個性は益々失われていくのである。

◆面の外国、点の日本◆

オレンジ色の三角屋根で統一されたかわいらしい家々、街角のお店にはシンプルに洗練された装飾サイン、電柱もなく、信号ですらデザインされている、そんなヨーロッパみたいに見える街並みにできないものだろうかと思ってしまうのである。

伊勢のおかげ横町や大分の湯布院、長野の小布施町、倉敷の美観地区など確かにきれいで魅力を感じるのだが、そこはほんのポイントであり、面としての広がりをもっていないのである。これは、「まちづくり」に意識がないという日本の行政の体質を物語っている。街全体が歴史的建造物であり、同時に芸術性を抱合し、それが市民生活と一体となっている欧米。人集めの観光目的に思案し、建物を昔に返し、造りかえる日本。そこには生活からきり離された「造り物」の枠を脱しえない虚しさがある。

◆昔に返す作業を◆

しかしながら、たとえ造り物でも日本全体が歴史を感じる情緒ある街並みだったらどんなに素晴らしいことか、そのことは日本人が失われた人間性をとりもどし、心豊かに生きるための糧になり、生活にうるおいや安らぎを感じるための大きな要素となると強く感じるのである。なぜなら、そこには歴史や伝統、芸術や文化が内蔵しているからである。日本の形を昔に返す作業、それは同時に日本人の心を回帰させるという大事な役割を果たすものである。

◆トップの感性でまざる◆

一向に景観がよくならない理由がある。ヨーロッパでは街並みに対して厳しい規制がある。看板に対しても、大きさや色、形状にいたるまでデザイン検討される。ドイツでは30年も前からパソコンでシミュレーションをおこし、周辺景観との調和を考慮していく。たかが60cm角ぐらいの看板に対してもその必要性の是非をアドバイザーが話し合うのである。つまり、行政の取組みが根本的に違うのである。アメリカではビルの建設も既存のビルとの調和を重要視して検討される。だからアメリカのビル群全体はとても美しいのである。パリにしてもあの美しい街並みが統一したのも、当時の市長の一声があったからである。もし戦後、感性豊かな総理大臣が現れ、「みなさん、日本の伝統ある街並みを生かし、美しい景観をつくっていきましょう！」と一言あったなら、電柱は埋設され、看板や建物は統一され、信じられないほど世界に誇れる素晴らしい街並みが構築されていたらと思うのである。

行政の担当者の高い意識と、トップの指導者の街づくりにかける情熱と、豊かな感性があるかどうかで、都市景観は決定されるのである。

◆私たちのビジョン◆
私たち看板業者は、その業態において考え方とらえ方はもちろん違いますが、やはりビジョンを持たなければならぬと思うのである。それは「サインを通して楽しくうるおいのある景観を創造し、社会に貢献すること」である。そして、その過程において美しさを基準にクリエイティブし、そこに感動が生まれてくるといった精神面の豊かさを追求する意識がもつとと大事なものである。私たちの仕事は「公共の空間を使用している」という強い認識が必要なのであり、ただ単に経済的な取引だけであってはならないのである。

デザイン性を高め、「一般市民から愛される景観を構築すること」が、今の社会から冒頭のように求められることであり、更に私たちが社会的地位を確立する重要なテーマでもある。

R日広連印

インクジェットペーパークロス

インク吸収紙が余分なインクを吸い取り、にじまず生地の裏まで文字・画像が鮮明に抜けます。のぼり、タペストリーに最適な新素材です。<水性染料(屋内)、顔料ともに使用できます。>

(素材) ポリエステル100%

品名	巾	長さ
インクジェットペーパークロス	127cm巾	30m巻(3インチ紙管)

高級懸垂幕素材ストロングクロス

水性/油性塗料、スクリーン印刷、マーキングフィルムに。従来の綿かつらぎ素材にくらべ強度も高く、屋内外で安心してご使用できます。

(素材) ポリエステル100%

品名	巾	長さ
ストロングクロスE100	100cm巾	25m巻・50m巻
ストロングクロスE130	130cm巾	25m巻・50m巻

カッティングキャラコ

マーキングフィルム専用のキャラコです。マーキングフィルムを貼るのはもちろん、水性油性塗料での手書き、印刷ができます。裏面には撥水処理を施しているため汚れにくく、屋外にも使えます。

(素材) 綿100%

(表面) 樹脂コーティング

品名	巾	長さ
カッティングキャラコA	92cm巾	55m前後巻反
カッティングキャラコD	137cm巾	55m前後巻反

日広連印キャラコ (綿100%)

塗料のノビがよく、にじみがない看板製作に最適な良品のキャラコです。

品名	巾	長さ
日広連印A キャラコ	92cm巾	約115m
日広連印B キャラコ	92cm巾	約115m
日広連印C 天竺	115cm巾	約115m
日広連印D 天竺	137cm巾	約115m

青森県屋外広告美術協同組合 TEL 017-734-7302 FAX 017-734-7303
岩手県屋外広告美術協同組合 TEL 019-645-3140 FAX 019-647-3194
宮城県屋外広告美術協同組合 TEL 022-257-0437 FAX 022-299-5433

秋田県屋外広告美術協同組合 TEL 018-823-8458 FAX 018-823-8460
山形県屋外広告美術協同組合 TEL 023-633-1178 FAX 023-633-4925
福島県屋外広告美術協同組合 TEL 024-524-0937 FAX 024-524-0938

商品についてのお問い合わせは 東平商事株式会社
〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-6-10ニューライフ船場408号
TEL 06-6251-1421 FAX 06-6251-8875

岩 手 県

元氣を出して前へ進もう

岩手県屋外広告美術協同組合

（術）長沢画房 代表取締役 長 澤 章



新しい年を迎え、2003年が始まった。昨年の岩手は景気の低迷に加え、二戸市と青森県田子町にまたがる国内最大の産業廃棄物不法投棄事件や台風6号による甚大な被害、孫ら少年4人が老夫婦を襲う：などやりきれなさを象徴するような事件が続きました。

その中で県北地域圏の新交通時代の幕開けとなった東北新幹線・盛岡―八戸間の開業は率直に喜びたいものです。地域経済の活性化、活力ある県北地域圏づくりにいかにつなげていくか、有効利用に今後も知恵を出し合いたいものでもあります。

「活力ある地域」づくりはどの市町村でも大きな眼目なの言うまでもありません。その中でおお議論が続いているのが市町村合併の問題です。合併の優遇策を盛り込んだ特例法の期限は2005年3月迄で、必ずしも期限にこだわることはないとしても、地方分権のありよう、自分達の地域の将来を真剣に考え新たな時代へ向けた態勢を確立しておく必要があると思います。

合併には推進、消極、慎重など、まだまだ自治体間の温度差や合併先の選択肢に差異がありますが、今年には合併の是非を含め自主判断と自主決定を迫られる年であり、自治体の長や議会が住民にどう向き合おうとしているかが問われる年でもあります。

今年には21世紀の岩手のイメージを真に形づくるという意味で大きな節目にかかっているように

に思います。知事選、県議選などの統一地方選挙に続き、盛岡市長選挙が控えているからであります。

話は変わって、平成16年度技能五輪が岩手で開催されます。岩広美理事会でも最近よく議題にのぼります。聞くところによれば、この大会には21歳以下（世界大会）という年齢制限があるとのこと。現在の周囲を見渡しても若い職人の数が減少状態にあり、岩広美青年部でも人集めに大変苦労しているのが実情です。サッカー競技でも3人までは年齢を超えてもオリンピック出場が認められています。審査内容からしても、もう少し年齢を引き上げても良いのではないのでしょうか。そうすることによって出場参加の人数にも好影響を及ぼすものと思われれます。各県の有能な選手の沢山の参加を岩手でお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

観を復元、自然の再生を図ってゆきます。「つくろ」ことに軸足を置き、時に無駄さえ指摘される事業もあることから、大胆な質的転換を図る方針を発表し、全国一律の事業を促す現在の国の公共事業補助金制度にも風穴をあけてくれることでしょうか。豊かな自然を誇りとする岩手ですが、自然を人工的に復元せざるを得なくなっており、「変わる公共事業」として地域住民が参画する公共事業を一層促してゆきたいのです。このような「変化」こそ、今求められているものと考えます。



マーケティングフィルム Viewcal900・880・560シリーズ
Hi Lucky・Lucky Color Sheet
インクジェットメディア SG JET・LS JET・LL JET
ラミネートフィルム Lag プロテクト・Lag マウント
プリント&カットソフト スターシリウスプロセス・カルカットシステム
インクジェットプリンター&カッティングプロッタ

上記商品のご用命は下記へ！

サインディスプレイ システム&マテリアル
フルカラープリント

有限会社 青森桜井

〒038-0042 青森市新城市平岡109-248
TEL 017-788-9101(代) FAX 017-788-9102

企画開発型商社 桜井株式会社

仙台支店
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1
TEL 022-237-1820(代) FAX 022-237-1823
盛岡営業所
〒020-0882 盛岡市住吉町12-3
TEL 019-652-8711 FAX 019-652-8715

http://www.sakurai.co.jp

サイン&グラフィックストーリータルサポート

フィルム・マシン取扱から出力・加工・施工まで各種サポート

デジタルグラフィックスシステム

高耐候性大型フルカラー出力やバラスラッピング、壁面、フロアー等特殊アプリケーションからポスター、シール等のオンデマンドタイプまで各種スリーエムグラフィックスシステムをご提案します
スコッチプリントイメージグラフィックス、DSP-1300アリゾナ、ASP-1600、3M
各種インクジェットシステム、エッジ、ルーター、スコッチマスタードリームベガ

スリーエムサインマテリアル&サプライ

スコッチカルフィルム、コントロールタックプラス、マスターカットフィルム、デザインシート、バナグラフィックス、ダイノックフィルム、スコッチライト、スコッチティント、ライトファイバー、VHB接合用テープ、スクリーン印刷
その他スリーエム各種製品取扱い

住友スリーエム(株)特約加工代理店 株式会社 丸 和 商 会

本 社 宇都宮市瑞穂3-5-14 028-656-3611

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------|
| 仙台営業所 | 仙台市宮城野区岡田西町1-37 | 022-288-1351 |
| 青森営業所 | 青森市長島3-1-1 | 017-722-7971 |
| 秋田営業所 | 秋田市泉北2-8-12 | 018-866-3261 |
| 盛岡営業所 | 盛岡市みたけ4-11-48 | 019-641-9541 |
| 山形営業所 | 山形市南原町3-16-1 | 023-631-3611 |
| 郡山営業所 | 郡山市久留米4-160 | 024-946-4121 |
| 東京・高崎・水戸・沖縄営業所 | | |



エーアイユー インシュアランス カンパニー

屋外広告美術協同組合

災害補償制度推進担当会社

AIU保険会社仙台直営支店(ISオフィス)

〒990-8449 仙台市青葉区中央1-3-1アエル16階
TEL 022 (213) 4335 FAX 022 (213) 4755

秋 田 県

エシヤジャノキモコ

テルイカンバン

代表取締役 照井 勉

子供の頃、何事においても消極的で気が弱く気が小さかった。そんなオレをよくお袋は「エシヤジャノキモコだな」と言った。エシヤジャとは方言であり、正体は1センチ位のエビに似た「アミ」のことである。キモとは肝のことで心臓といってもいい。つまりオレは人間の体をしてはいるが、気持ちのあり様は誠に小さいということなのだ。

そんな俺が高校を卒業し、東京へ出た。ある日、就職した職業に悩めるオレは夜の小路の手相見のところへ立っていた。「あなたはいずれ小さい会社を作るだろう」といわれた。まさか、こんな気持ちの小さい人間が、と思つてそんなことはまるつきり忘れていた。そのうち都会に性が合わないので秋田へ戻つた。あの手相見から言われて10年位たつたあたりに、どうしたものか「小さい会社」を作っていた。

仕事は順調で何年もしないで軌道に乗つた。乗つたけど相変わらず気持ちが小さいので会社を大きくはできない。かかった。そのうちに小さい会社も右方がどんどん下がついて現にいたるのである。エシヤ



ジャノキモコはまだ健在であるが、ある日エシヤジャは暇を見つけては(探さなくてもいい)ばいある) 走るようになった。走つてみると悩みが軽くなり、物事を楽観的に考えられるよう

老若何如

吉田カンバン

代表 吉田 龍

この3月で51歳になります。人生百年と考えたら、ちょうど半分、75年と考えたらちょうど3分の2、60年だとしたら6分の5。あまり使えないサラリーマンなら、もうそろそろポンと肩をたたかれてもよさそうな歳になつてしまいました。毎日の生活の中で老いてきたなといった実感はさほど無いにしても、若者とは言えない、言われる事はないという現実はどうも否めません。デザイン仕事なんかをしていても、ネタが尽きてきた感には確かにあります。集中力・持続力・忍耐力・記憶力は、小さな頃からあま

りある方ではなかつたせいか、そこいらへんの能力の低下は感じないにしても、酒の席での話題ひとつ取り上げて、やれ、腰が痛いのだ、小さい文字が見えにくくなったの、回数(?)が激減したのだ、孫ができたのだ、すっかり老人の域に達してしまつていようです。日曜日の朝、せつせと駐車場の雪かきしている妻を窓越しにながめながら、「春になればどうせ溶けてしまうのに、無駄なことやつてるな」などと思いつつながらゴロゴロと

になつたし仕事にも幾らか積極的になつたような気がする。依然として人の皮をかむつたエシヤジャではあるが、もう10年はこの仕事を続けなくては。

事だろう」などと罵倒されながらも、長年培つてきた私のこのスタンスは変わりません。思ひおこしてみれば、この私の場合かなり若い頃から老人の資質というものが備わつていたような気がします。もしかしたら天性のものなのかも知れませんが、早くに『老い』を極めたと言つても過言ではないかもしれせん。誰もほめてはくれませんが。



3M ScotchPrint Grand Format Print

DIRECT PRINT SERVICE
Digital Graphics Solution
Sankousya
SINCE 1994

各種メディア
ターポリン
メッシュ
耐水紙
PPフィルム
フロアーシート
透明シート(ガラス用)
乳白シート(内照用)
各種布
ワンウェイビジョン
反射シート
グラフィック用塩ビ
再剥離塩ビ

最大プリント3050mm幅のスケールで
外照用・内照用を問わず
多彩な大型グラフィックを実現。
さらに屋外3年の耐候性。
多彩なメディア

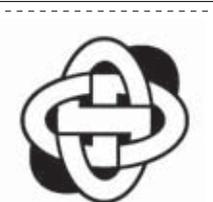
DigitalSolution
(株) **三 栄 社**
〒990-2414
山形県山形市寿町13番22号
TEL 023-624-3100 (代)

http://www.sunkou.co.jp/
Eメール:nagai@sunkou.co.jp
永井まで

实用新案のぼり旗 (第3065193号)

雨や風でも絡みにくく、いつもしっかり標示する


東北シルク
安全旗


東北シルク
社旗

社名入反射ステッカー製作します

その他ステッカーも製作しております
詳しくは下記までお気軽にお問い合わせ下さい

東北シルク(株)
山形市宮町二丁目13番11号 TEL 023-641-2215 FAX 023-641-2788

sign & display

スペースカラー・ディスプレイ加工紙
ニードルパンチカーペット
インクジェットメディア
マーキングフィルム
遮光フィルム・化粧フィルム
デコベニヤ・パネル・ボード各種

ニップの提供する素材は
全国のイベントで活躍しています。

株式会社 ニップコーポレーション
東日本事業部 URL <http://www.nip-co.co.jp>
仙台営業部 〒984-0042 仙台市若林区大和町3-4-20
ディスプレイ課 TEL 022-232-7411 FAX 022-238-0271
青森営業所 TEL 017-782-1331 FAX 017-781-4091
盛岡営業所 TEL 019-658-4771 FAX 019-635-6610

東京 本社 / 名古屋 / 大阪 / 広島 / 福岡

宮 城 県

ワールドカップを生で観て

東京ネオン電気株式会社

営業企画課 小野寺 智



小学校4年生から今も現役でサッカーをしている私にとってワールドカップは夢の舞台です。その夢の舞台でプレーすることは諦めました。そこで観戦することはワールドカップをリアルタイムで観た1990年イタリア大会からの憧れでした。しかしそれまでのワールドカップはヨーロッパもしくは南米での遠い出来事で、そこで活躍する選手も遠い存在でしかありませんでした。

しかし、今年の2002年あのワールドカップが日本、そして宮城県にやって来ました。ワールドカップを日本で作ると知ったときは、ほぼ全試合を観戦したいと思っていました。現実には甘くなく1試合しかも一人でのチケットの入手が精一杯でした。抽選の結果、組合せは予選リーグメキシコ対エクアドル。とびぬけた選手はいませんが大変安定したサッカーで予選を突破してきた実力国同士の一戦です。

商店街やテレビ観戦のわかサッカーファンが盛り上がっている頃、その日はやってきました。見事な晴天、ビール好きの私はスタジアムのまわりで飲もうと思いつき開始四時間前には到着しましたが、想像とは異なり、フリーガン

対策のため店は出ていっていませんでした。スタジアム入場ゲートには気が遠くなるほどのファンの行列があり、1時間は並んだでしょうか、私と周りの日本人はバテバテでしたが、メキシコ人とエクアドル人は楽しそうにずっと歌っていました。さすがサッカーが根付いている国、楽しみ方がうまいなあと感心してしまいました。試合は国と国の誇りをかけた戦いらしく、激しくレベルの高いとても満足のできるものでした。海外のファンの応援も、レフェリーを見方につけ、選手の闘争心を仰ぐような素晴らしいものでした。

世界最大のイベントを間近で観戦して、サッカーの根付いていない日本では、スタジアムの問題など山積みでしたが、憧れ続けてきたものに参加できて幸せな1日でした。2006年、サッカーとビールとソーセージの本場ドイツ大会でも是非、生で観戦したいものです。

雑 感



つい先日のごとくありますが、伝統工芸品をたずねて仙台筆筒を見学できる機会を得ることができました。仙台筆筒はご存知の方も多いことと思いますが、仙台市の教育委員会が市民の文化財としても定められています。

宮城県の県木である樺の木目と漆との調和は、温かくて、深みがあり、そこに手打ちであしらう飾り金物が全体を引き締め、重厚でなんとも素晴らしい作品であります。工房を見せていただき職人の方にお話を伺うことができませんでした。長い年月をかけて原材料の乾燥作業から材料作りの一つ一つの工程に、決して時間をおさず丹念に納得のいくまで繰り返す作業、

榊トホク宣広

代表取締役 戸 田 直 之

そこに作者の心のこもった作品が仕上げられる様子を勉強させていただきました。許されるのならもつと見ていたい、また見に行きたい、そう感じてまいりました。お値段は三尺位で〇〇万円と、お聞きしました。「ウーン高いなあ。客が少し減ってくださいますよ、と言ったらどうしますか?」「まけません」の答え、0.2秒後

ためらうことなく言われてしまいました。そう言える根拠と信念が主人の表情に汲み取れました。フラッシュ構造でタッカーと木工ボンド、流れ作業で組み立てられた化粧板で覆われたスマートな筆筒を使っている私であります。工房を後にしてから思いました。看板見積でまけるというわいたら...0.2秒でああ言えるだろうか...。ついこの前までは、看板は好い値段での取引であったなあと今さらながら思いました。今看

板業界ではコンピュータを使つての異業種からの参入やら、コスト競争での品質への影響など様々の問題で頭痛のやまぬ日々であり、コンピュータマシンの操作ができれば、半年で看板が作れる時代でもあります。しかし、このような時に業界で永い歴史のなかで代々受け継がれてきました、機械に頼らないでの温かみと味の有る素晴らしい技の継承と育成が花開き、近い将来必ずやお客様の心をとらえることができるものと信じております。

なお、この度は、卓越技能者として厚生労働大臣表彰を業界から4氏の方がお受けになり、東北地区連でも宮広美参与の庄子恭夫様が、現代の名工として表彰されましたことは、なによりもうれしいニュースであります。庄子先生には益々ご健勝にてご活躍いただき、また後進へのご指導を宜しくお願い致します。どうぞ本年が皆様にとってご健勝にてご商売が繁盛でありますように祈念申し上げます。今年も宜しくお願ひ申しあげます。



都市環境とサインコミュニケーションに貢献する企業 URBAN SIGNAGE

取扱品目

- ・ボックス文字
- ・各種銘板
- ・各種インテリアサイン
- ・シンボルマーク
- ・点字サイン
- ・ポスターケース
- ・スタンドサイン
- ・モニュメント
- ・アクセサリシリーズ

株式会社 研 創

仙台営業部
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2丁目3-11 渡正ビル2F
TEL (022)284-6511 FAX (022)284-1501
URL <http://www.kensoh.co.jp> E-MAIL sendai@kensoh.co.jp

ネットワーク
札幌 仙台 埼玉 東京 東関東 横浜 名古屋 大阪
広島 福岡

Nakagawa Original Color System
NOCS 2500
New

システム化された屋外装飾用シート「NOCS2500」は環境に関わる2500色を背景に使用頻度の高さ、過去のCI事例や実績にもとづいて296色が厳選されました。新しくなったNOCS2500は景観色を加えた計574色でラインナップ。みなさまの多彩なニーズに対応します。



本社：〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-6 TEL.03-5835-0341 FAX.03-5835-0374

山形県

東北一小さな市から
日本一のまちをデザインしてみたい

新庄支部 三浦好昭

私が住んでいる尾花沢市は、県内はもちろん東北でも一番小さな市。(人口2万2千人)そんなまちでも誇れるものはたくさんある。日本最北端の代官所があり、芭蕉が10泊の長期滞在をした。世界のフラワーハットダンスになった花笠踊り発祥の地でもある。また、日本三雪の地、日本三大銀山でもある大正ロマンの銀山温泉、そして夏スイカ日本一の里…。こんな自慢できるまちは、そうそうないと思う。今、このまちを誇りに思っている仕事をさせて頂いております。

子どものころ、父は、農家だけでは食っていけないと、ペンキ屋を始めた。しかし、なぜかスイカだけは、栽培しており、高校の時、父と仙台にスイカ売りに行った。一軒一軒回って歩いた。買ってもらうのは大変だったが、山積みスイカも夕方にはなくなった。帰りのラーメンがうまかった。さらに数日後、夢だったギターを買ってもらった。この時のスイカとの出会い、



スイカの力に感動したのが、私のスイカへのこだわり、夢の始まりだった。夏の生産量日本一を誇る尾花沢スイカ。それを支えている1つに、間引きして捨てられる膨大な「もとなりスイカ」がある。この存在から、尾花沢市の観光

大使を務める「もとなりくん」が誕生した。徳良湖で開催している「日本一すいかフェスティバル」はもちろん、現在は「もとなりくん」の絵本を作り、保育園などで読み聞かせをスタートさせている。

2000年、中心商店街のご真ん中に、空き店舗を利用した「尾花沢夢ファクトリー」がオープンした。花笠踊りの発祥地徳良湖や銀山温泉の歴史などを紹介しているほか、地元で採れた野菜や山菜、物産の販売コーナーなどがあり、ここに来れば尾花沢のすべてが分かるというような施設だ。もちろん、この施設のイメージキャラクターは「もとなりくん」であり、尾花沢スイカの情報発信基地としての役割を担っている。まちのご真ん中のコンクリート上にスイカ畑を作りたいという夢から始まった山形新幹線ホームのスイカ畑、尾花沢スイカの応援歌を作り、スイカ畑を守る良質たい肥作り…。それぞれ、こだわりのある農家と

二人三脚で取り組んできた。去年4月には、夢ファクトリーですいか料理の試食会を開催。普段食べ慣れたスイカに新たな魅力が誕生した瞬間だった。夏で終わってしまうスイカの需要、出荷過程で出る大量の規格外スイカなど、現在のスイカ産業が抱える問題を解決する糸口を発見した思いだった。

コクコク遊びがいっぱい!! 徳良湖 TOKURAKO

オセワシのスマイルを満喫する
徳良湖オートキャンプ場の周辺には
アウトドアゴルフやテニス、サイクリング
器具も揃っています。
湖ではつりやボートが楽しめます。
徳良湖で最高のレジャーを満喫して下さい。

徳良湖 周辺案内図

昔から腎臓病の妙薬として知られてきました。また、体内の水分を排せつする働きがあるので、むくみには絶大な効果を発揮する。「すいか糖」はスイカを極限まで煮詰めたもの。「すいか漬」は、一番成を適果して漬けたもので、どちらも全国から注文が舞い込み始めた。また、今まで不可能だった「スイカ水」と、果肉を洋かん風にした「すいか甘」ができ、スイカと尾花沢牛を合わせた加工品も現在開発に取り組んでいます。ぜひ、尾花沢を食べに来て下さい。

また、今年度の山広美のレクリエーション大会は、当地花笠踊りの発祥地徳良湖で開催され、グランドゴルフ大会の後、世間を騒がせた牛肉問題にもでた、松坂牛ラベルが貼られていた尾花沢牛(生産高東北1、7千頭)で大バーベキュー大会を開きました。そしてまた、今年度の組合総会も当地銀山温泉で開催されることになっており、大変うれしく思っています。今、銀山は、大正時代からの木造3層、4層の家並で、特に全国に放送されている「日本人は、日本の心をしらない…」の外人のおかみさんがいる所でもあります。それに3月からNHKで20年振りに放送される「おしん」のドラマの舞台にもなりました。ぜひ、皆さん尾花沢のことならなんでもご紹介いたします。お待ちしております。

出カサービス

- 早く Speedy
- 安く Reasonable
- キレイ Beautiful

グランドジェット

大型溶剤系インクジェットプリンター



塩ビシート・ターポリン
メッシュシート・紙、他
多様なメディアに美しく
出力いたします。
(注)一部適合しないメディアもございます。

総合看板設計・製作・施工

お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

株式会社 原町サイン

福島県屋外広告美術協同組合員

〒975-0036 福島県原町市萱浜字一本松108-1

TEL.0244-23-5727 (代)

FAX.0244-24-4835

E-mail:harasign@soma.or.jp



マトンスプリンター

高速ワイドフォーマット熱転写プリンター

福島県

談話

福広美理事長 黒澤 功

私の在任中2度も続けて金メダルをもたらし
てくれたことに、先頭にたつて尽力した技能開
発のスタッフに、お礼を申しあげるとともに、
この偉業をなしたげた福広美の姿をはげまし
く榮譽に思います。

福島県に金、技能五輪2連覇
スイスの国際五輪にも出場

10月17日から20日にかけて行われた技能五輪
くまもと大会において、福島県から出場した三
坂太志くん（郡山市㈱クリエティブダイワ）
が見事、金メダルに輝いた。前年にも松本大く
ん（郡山支部長(有)アル・アルチザンご子息）
が金メダルを獲得しており、福島県内外の関係
者は、偉業を成し遂げた若い世代のエネルギー
もさることながら、黒澤理事長の強力な指導の
もと若い力を鈍らせずに、くみ上げ育てあげた
福広美の技能開発の力を高く評価し、ものづく
りの重要さを重視していた知事の主導で、職人
による技の祭典
として「ものづ
くりフェスタ」
を開催。職人芸
を継承発展させ
ることへの意気
込みを広く知ら
せた。

くまもと大会
では岡田麻衣さ
ん（原町市㈱原
町サイン）の銀
メダル、佐藤公
治くん（㈱クリ



エィティブダイワ）の敢闘賞と、本県出場の三
人の選手が揃って気をはいた。
三坂太志くんの勤務する㈱クリエティブダ
イワ社長、大戸邦男氏のもとには日広連を通じ
て国より来年スイスで開かれる国際技能五輪へ
の参加要請が来ており、参加となれば会社とし
ては多大な犠牲を覚悟しなければならぬといこ
るのだが、大戸氏の日ごろからの技能に対する前
向きな姿勢に揺るぎはなく、即座に要請を快諾
関係者感激させた。
国による経費負担がわずか40パーセントと言
う厳しい中での国際五輪参加となるが、東北地
区連においても、暖かいご支援をお願いしたい
と切に願うものである。

福島は燃えている

福広美副理事長

技能開発担当 野地良三

㈱クリエティブダイワ（郡山市）の三坂太
志君の胸に金メダルが誇らしげに輝くのを見た
とき、この記録は永久に残るだろうなと思いま
した。福島県勢が技能五輪広告美術部門に過去
最多の8名を参加させ金、銀、銅、敢闘賞総な
めという前年に引き続いて2年連続金、銅とい
う快挙を為し遂げたのです。技能グランプリ粘
着シート部門でも㈱原町サインの目黒猛君が本
県初の1位の榮譽。三坂君は6月のスイス国際
大会へ参加することになり、今練習に励んでお
ります。思えば技能五輪福島県開催の報に、広
告美術部門初めて参加の第8回大会で当時㈱ア
ルスにいた私（野地良三(有)アーム工芸）の2位
入賞に始まり本県からは1位など上位賞を多く
出した記憶がよみがえり、後に続くものの養成
は自分の使命だと燃えに燃えました。さっそく
理事長に進言し技能開発委員長の佐藤義信さん
と私と松本英明さん3人でプロジェクトチーム
を立ち上げました。我々が長年かけて身につけ
た技術をたつた半年でやろうというのは土台無
理な話だという声も聞こえてくる中でのスター
トでした。筆を持つのは始めてという8人が筆
使い、筆のさばき、隅の決め方、カーブの筆は
こび、文字のデッサン、調合の仕方とまずは予
選会クリアに向けて特訓。目標突破の後はフ
リーテクニク、塗装、バテ、クロス貼りと進
み、狭い会場で2日、10時間、12名参加の本番
を迎え、前述の成績を残したわけです。とにか

く素晴らしい充実感でした。佐藤さん、松本さ
んたちの尽力と選手育成に大きな理解を示して
くれたクリエティブダイワ社長の戸邦男さん、
そのほか応援していただいた皆さんに感謝
の気持ちでいっぱいです。今から20年くらい前
からでしょうか、カッティングマシンの普及
によりパソコンやシートばりに従事する従業員
さんが増え、仕事の幅は広がるとともにスピー
ドアップしました。反面シートの在庫が増えて
コストが上昇。画工職人も減りました。看板屋
の筆離れが始まったのです。コンピュータ時代
においても質の高い看板をローコストで作りと
利益を上げるには絶対に手描きでつちかったレイ
アウト、色使い、字の太さ、インパクトの強調、
イラストの効果、手作り文字などのノウハウが
必要だというのが私の信念です。そ
れが技能五輪選手
育成のバネになり
ました。手書きと
コンピュータの
合体により自分
力で仕上げる製品
は大きな喜びです。
また全国一平均年
齢が若い理事23名
は福広美の大きな
力の源です。



看板資材卸販売
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

東北藤光株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46
TEL (022) 254-0611
FAX (022) 254-0608

編集後記

未知の森の中へ

厳しい経済情勢の真只中で新年を迎えた。各県の単組、地区連、日
広連ともども役員改選の時期にあたっている。
それぞれの立場や条件のある中で従来の旧習慣をそのまま引き
ずっていくのか、それとも21世紀の時代にふさわしい意欲の革新が出
来るかどうか大きな節目になる。

隣国の中国や、タイ、マレーシアの経済成長を続けている活性化の
パワーには日本との意識の違いを感じる。日本は狭隘な視野の意識が
足かせとなって明日への自分を見失っているように思えてならない。
各企業においても同様である。自助努力もさることながら未知の分
野（森）の中へ入って業態確立を目指すのも選択肢のひとつになっ
てくるのではないか。

ぜひ、今年も元気な姿を拝見し、お互いに情報交換と切磋琢磨の出
来るチャンスを自ら求めずして何おかいわんやである。

日広連情報文化委員会中央委員
東北地区連情報文化委員長
山広美 ㈱三陽プロセス
代表取締役 稲村 彰一